

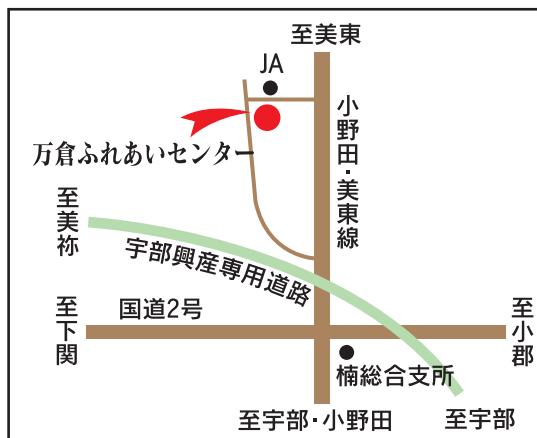
万倉音頭

作詞 伊藤 勇
作曲・編曲 山本 達八
振付 榎原 麻里
歌 賴田 有梨

一 まぐらすみたや 花咲く里は
つつじ咲くとこ 恋も咲く
茄子の花にも 福がなり
秋は黄金の 秋は黄金の
波がしら 波がしら

二 まぐらすみたや 文化の里は
赤間硯に 知恵みがく
岩戸神楽に 福が舞い
国司信濃の 国司信濃の
男意気 男意気

三 まぐらすみたや いついつまでも
住めば都の ふるさとは
情け深さに ほだされて
老いも若きも 老いも若きも
恵比寿顔 恵比寿顔



“万倉の農産物”



はなっこりー

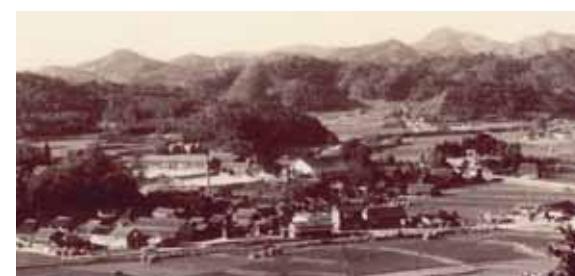
万倉なす

パセリ

“万倉中心部の昔と今”



昭和34年 当時の万倉駅



昭和35年 学校周辺



現在の万倉ふれあいセンター周辺

小郡・山口南・小月ICから車で………30分
宇部・小野田ICから車で……………15分
JR小郡駅から車で……………30分
JR宇部・小野田・厚狭各駅から車で…15分
山口宇部空港から車で……………35分

ま ぐ ら ろ まん

万倉浪漫



【伝統的工芸品 赤間硯】

■制作 万倉校区まちづくりサークル

■発行 宇部市教育委員会
平成21年(2009年)3月



③護国神社

明治元年の禁門の変で、切腹された毛利家家老國司信濃公はじめ第二次大戦までに国難に殉じた204柱の英靈が祀られている。



⑪寿福寺

淨土真宗、融光山寿福寺は開祖淨願(杉伯耆守重長の一族)が、永祿元年(1558年)開山。本堂裏の庭園は、つつじ、シャクナゲなど、四季折々に心うるわす安らぎが得られる。



⑬芦河内薬師堂

応永25年(1418年)にお堂が再建され、県内のお堂の中では最も秀麗な景観をもち、茅葺・寄棟造・正面両面吹抜けという古い形の薬師堂の姿を保つ造りで、堂内には、阿弥陀如来・薬師如来などの像や、祭の道具が保存されている。昭和62年に県指定有形民俗文化財に指定され、平成15年に修復された。

“昭和4年11月23日から、万倉天神祭り「奴行列が」はじまる。”



昭和初期～戦前頃の奴道中



現在の奴道中



⑧楠若者センター

体育広場の土手に地域の方々の手で植えられたつつじ。毎年4月29日に、万倉ふれあいセンターを主会場に“つつじまつり”が開催されている。

歴史と文化・史跡の万倉



～田園地帯をウォーキングしませんか～

ゲンキーと一緒に始めましょう！



④ 天龍寺
本尊は千手観音である。往古「正樂寺」という伽藍があり、觀音示現の靈場と言われた古刹。寺内の墓地には、国司家歴代墓所や杉氏の墓所がある。



⑭ 宗方古墳
6世紀ごろの玄室と羨道からなる横穴式石室古墳。現状は縦7m高さ2mで、周囲を削りとられて原形は不明。出土品の一部が船木の郷土資料室にある。



② 宮尾八幡宮
シイを主体にした照葉樹林に囲まれた八幡宮。永年5年(1508年)の日付がある絵入縁起が伝わるほか、境内には県指定有形文化財の木造薬師如来座像が安置してある。



⑤ 広矛神社(旧若一王子社)
祭神は大己貴神、事代主神、建御名方神の三柱。はじめ「若一王子社」と称したが、明治2年現社号となった。



⑦ 教善寺
この山茶花は、樹齢約400年の古木で高さ13mにもなる。杉伯耆守重良の重臣、本田左京大夫良政が重良の死後、出家し、種をまいたといわれる。



① 万倉ふれあいセンター P
万倉地区の地域コミュニティの拠点として、行政・文化の中心的機能を備えた施設。赤間硯の産地にふさわしく硯の展示スペースや硯の原石を使った創作壁画がある。ここを起点に万倉巡りを始めましょう。

